

一般社団法人まなびのみなと事業計画(第5期 2023年4月-2024年3月)

	事業分類	事業名	事業概要	担当者	計画	協力団体
1	学びの中継点	ミカタカフェ	“誰もが誰かのミカタになれる場所”をコンセプトにカフェ併設型のコミュニティスペースを運営。地域の大人と子どもの交流が生まれる場所、その出会いによって地域プロジェクトが生まれる場所を目指す。	勝瀬	-9月早稲田大学理工学部建築学科・古谷研究室との共同研究でイノベーションプロジェクトを推進 ・10月マンスリークラウドファンディング実施予定	・公益財団法人日本財団 ・大崎上島町
2	学びの中継点	大学生サテライト・インターン誘致	大崎上島町でのインターンシップならびにフィールドワーク受け入れを促進することにより、課題解決型プロジェクトの増加・加速を図り、大学がない島内で暮らす学生にとってのロールモデル発見の機会とする。7月よりインターンシップ活動拠点ともなる滞在施設の運用を開始。	勝瀬	7月 大学生を中心とした来島者の滞在施設運用開始予定 8-9月12-3月 長期休暇を活用したインターンシップ受け入れ	
3	学びの中継点	SCHシンポジウム西日本	地域と学校の協働について、行政・民間・学校・地域住民など多様なセクターの実践者や関心を持つ人々が集い、対話を通して、知識を交換し、互いの実践を後押しするシンポジウムを開催する。	笠井	-9月 旅するSCHを開催。 ・10月 SCHシンポジウム西日本開催。	・大崎上島町 ・大崎海星高校
4	学びの帆を開く	「教育の島」学校間連携プロジェクト	広島県立大崎海星高等学校・広島県立広島観智学園・国立広島高船高等専門学校の3校が連携・協働できる事業を模索する。	高橋	2023年度 6月 年間スケジュール決定 7月 各学校へ依頼 7-2月 実施 3月 報告書作成	
5	学びの帆を開く	文部科学省マイスター・ハイスクール事業	専門高校と産業界のアップデート事業である文科省の「マイスター・ハイスクール事業」の伴走事業である「マイスター・ハイスクール事業にかかるPDCAサイクル構築のための調査研究(伴走支援)」において、「地域連携」の専門家(アドバイザー)として、各学校等への支援やアドバイス及び研修会等を実施する。また、事業3年目となり、次年度以降の継続・発展も見据えてモデル化伴走調査研究の責任者として、成功事例の因子分析のアンケート調査及びインタビュー調査を実施する。	取釜	株式会社ソフィア	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/mext_00_003.html
6	学びの帆を開く	企業・大学連携型「島スクール」運営事業 島チャレ	島スクール事業の4期目の取り組み。“やりたいことをはじめの第一歩”をテーマに、ひとり人の「やりたいこと」を応援し、チャレンジを創出してアクションにつなげていくことを目的にしたプログラムを実施。小学生から高齢者世代まで全世代を対象とした多世代交流の形で行う社会教育。また、事業4年目となり、今年から3年間の引き継ぎ期間を経てまなびのみなとが主担当として単独での事業実施となる。地域で学び、面白いことをやりたい人たちのチャレンジが生まれるプラットフォームを目指す。	円光	2023年度 5-6月 参加者募集 7月-12月 講座実施(5回) 1-2月 フォローアップ 3月 報告書作成・提出	大崎上島町
7	学びの帆を開く	教育旅行受け入れ	「イノ旅 かつえつ2023」プログラムとして現地訪問型の教育旅行の受け入れ実施。イノ旅では、イノベーションにチャレンジすることで、未来をつくる力(作法、心構え、動機づけ)を育むイノベーション教育を、日常から離れた旅先で行うプログラムであり、そのきっかけを柑橘農家さんや地域の人達の力を借りて行う。今年度は東京から私立かつえつ有明高校から約30名の生徒受け入れを予定している。教育旅行の受け入れのモデルづくりの検討を行う。	円光	10月17-20日で実施予定	一般社団法人iclub
8	学びの帆を開く	高校生マイプロジェクトアワード広島	認定NPO法人カタリバとパートナー契約を結び、全国高校生マイプロジェクトアワードの広島県Summitの運営と高校生のプロジェクト支援活動全般を展開していく。県内の高校生がプロジェクトを深く含む仲間・メンターを見つけ、成果・過程を発表する機会を創出すること、県内高校教員や県教委・企業との協働体制をもって探究学習を軸とするラーニングコミュニティを構築することを旨とする。	勝瀬	5-7・9・11・2月に県内教員を対象とした勉強相談会・イベントを実施 5-6月県内企業を対象にファンドレイズ営業実施 7-8月に大学を会場としたスタートアッププログラム実施(高校生対象) 10月-11月中間発表会実施(高校生対象) 1月マイプロジェクトアワード広島県summit実施	・認定NPO法人カタリバ ・公益財団法人マツダ財団 ・ひろしま好きしゃけんコンソーシアム
9	学びの帆を開く	清走中	大人も子どもも楽しめるゴミ拾い活動を通じ、ゴミ問題・海洋問題について考えるきっかけを提供するとともに、学校・職業・年齢を超えた地域住民の交流を生み出す。また、全国的にも注目を集める当イベントを通じて、地域全体で楽しみながら清掃活動に取り組める大崎上島町の姿を広く発信することを目指す。	勝瀬	5/20に清走中大崎上島線023を実施	・大崎上島町(後援ならびふるさとづくり事業補助金助成) ・株式会社Sab ・マイクロンメモリ株式会社
10	学びの帆を開く	大崎上島町食育プログラム	大崎上島町をフィールドに食を通して「地域で学び、地域を学ぶ機会」の創造を目的とした大崎上島町食育プログラムを実施する。大崎上島町の事業として、町から委託を受けて企画・運営を行なっていく。	神田	・「地域や食材と出合い学ぶ体験型プログラム」、「学ぶつくる食べる高校生キッチン」の各コース合計1回(月1回)実施 ・長期休暇を利用して、小学生の自由研究と題した食育プログラムを特別編として開催 ・地域で何かしたい、誰かと出合いたい高校生」とともにプログラムの設計・運営を行う	大崎上島町
11	学びの帆を開く	広報部	まなびのみなとについて、社会に対して情報発信を行い、団体の認知度を高め、活動の発展に寄与する。	笠井	定期的に、団体HP、facebookでの情報発信を行う。	
12	学びの帆を開く	まなびのみなと夢基金	地域活性的に何かアクションを起こしたいと考える学生が大崎上島町には一定数いる一方で、それを実行に移そうとした際に資金的な支援が必要になることも少なくないが、学校や公的機関ではスピード感ある対応が難しいだけでなく、援助自体が難しいことが多い。そのような学生の地域プロジェクトに対し資金援助することで、学生へのまなびのみなとのキッカケを提供、やりたいを実現するためサポートを行うことを本事業の目的とする。一般社団法人まなびのみなとの資金と、大崎上島町のふるさと納税で得た収益により実施。また今年度も「まなびのみなと夢基金ピッチコンテスト」を開催し、地域・社会をより面白くしたいとプロジェクトを走らせる学生同士の横のつながりを作ることを目指す。	神田	9月-10月ごろに「まなびのみなと夢基金ピッチコンテスト」を企画予定。	